


## Ipad 事例カード

アプリ名	AACグッドコミュニケーション
教科・領域	特別活動（読み聞かせ）
学習形態	集団（10人前後）
太田ステージ段階	I～III - 1
	
1 アプリの紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に登録した絵（写真）と文字が書かれた絵カードを押すと、登録した音（録音も可）が流れる。</li> <li>・絵カード作成後に特定の絵カードを非表示にすることができる。</li> <li>・教師の言葉かけで絵カードを選んだり、マッチングの学習ができる。</li> </ul>
2 使い方	<ol style="list-style-type: none"> <li>① カードの枚数を選択する。 （1, 2, 3, 4, 6, 8, 9, 12, 20の中から選択できる）</li> <li>② イラストを選択し、それぞれのカードに貼り付ける。 （背景の色も選択できる）</li> <li>③ 絵に合わせた音声を登録する。</li> <li>④ 教師の言葉かけや支援等に応じて絵カードを押す。</li> </ol>
3 おすすめポイント ・どんな力がつか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発語がない生徒でも劇的な活動に参加ができる。</li> <li>・劇的な活動で使用する時には友達の動きを見る必要があり、相手を意識することができるようになる。</li> <li>・視覚と聴覚の両方から刺激があるため、生徒自身が正誤を判断できる。</li> </ul>

### 【留意点・その他】

- ・無料で使用できる期間が決められているため、期間を過ぎてしまうと新しいカードは作れない
- ・使える機能も無料版では限られる。